

2024 年度入学試験問題 (第 1 回)

社 会

(30 分)

**著作権に関する注意**

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

**お断り**

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所がございます。御了承ください。

**【注 意】**

- ① この試験の問題文・設問は、1 ページから 8 ページに印刷されています。
- ② 問題は **1** と **2** があります。
- ③ 解答は必ず「解答用紙」のきめられたわくの中にはっきり書きなさい。

1 以下の文章は、ある社会科の先生が2022年4月から2023年3月までの1年間、ドイツで生活している時に経験したことに基づいて書かれたものです。文章を読み、問いに答えなさい。

2022年2月、ロシアがウクライナへの侵攻を開始しました。ロシアの一方的な主張に基づく侵攻に対して多くの国が反対しました。ロシアは世界のなかでも天然資源や農作物の輸出が盛んな国の一つでしたが、G7(主要7カ国首脳会議)のメンバーを中心とする国々が経済制裁を行ったため、これまでのような貿易が行われなくなりました。その影響で、ロシアからたくさんの石油や天然ガスを輸入していたヨーロッパ諸国では電気代や物価が高くなる現象が起きました。ウクライナ情勢の先行きが見えないなかでヨーロッパだけでなく、世界的な物価上昇や資源不足などの影響が広がりました。<sup>①</sup>

ドイツもロシアからパイプラインを通じて多くの天然ガスを輸入していました。<sup>②</sup>しかし、2022年2月以降はロシアからの天然ガスの輸入量を減らし、やがて完全に取りやめました。その結果、ドイツのエネルギー事情は厳しくなり、物価も上昇し、人々の生活に大きな影響が出ました。私もドイツで生活していましたが、日常的に利用していたスーパーマーケットや市場の様々な商品の値段が徐々に上がっていききました。私は自宅の近くのパン屋でライ麦パンを買って毎朝食べていましたが、その値段も上がってしまったので、もっと安いパンを買って食費を節約しました。私の友人のドイツ人は「肉料理が好きだけど、お肉の値段が高くなったから、今は1週間に1回ぐらいしか食べてないよ」と言っていました。

こうした物価上昇を受け、ドイツ政府は「9ユーロチケット」を販売しました。<sup>③</sup>このチケットは2022年6月から8月までの3ヶ月間、月額9ユーロ(当時約1300円)で、ICE(新幹線)やIC(特急列車)と一部の民間鉄道会社などを除く、ドイツ全土の公共交通機関が乗り放題となる夢のようなチケットでした。このチケットはとても好評でドイツ国内でおよそ5200万枚も売れたと言われています。もちろん、私もチケットを買いました。ほぼ毎日のようにバスや路面電車を利用していたので交通費の節約に大いに役立ちました。さらに8月にはバスや路面電車、鉄道を乗り継いでチェコやベルギーに行きましたが、チケットのおかげで交通費は<sup>④</sup>

格安で行くことができました。その後もドイツ国内ではチケットの継続を望む声が多く、政府も長い目で見れば割安チケットの販売は重要だと判断しました。その結果、少し値上げされましたが2023年5月から再び割安チケットが販売されることになりました。<sup>⑤</sup>

2022年の夏が過ぎたある日、友人宅へ食事に行くと「こんな新聞記事が出ていますよ」といって、今年のクリスマスは電飾<sup>でんしよく</sup>の使用を控えるよう呼びかける新聞記事を見せてくれました。私も電気代や光熱費<sup>ひか</sup>が含まれた自分の家の家賃がいつ<sup>⑥</sup>上がってしまうのか心配でした。ドイツ政府はウクライナ情勢の影響を受け、早い段階からエネルギー政策、とりわけ原子力政策を見直す話し合いをすすめていました。そもそもドイツでは、メルケル首相が2011年に政策を転換<sup>てんかん</sup>し、同年6月にドイツの国会で法律が改正され、原子力発電(以下、原発と表記)に関する重要な政策が決定しました。ウクライナ情勢の影響でドイツのエネルギー事情が大きく変化したため、次の首相のもとで原発の稼働期間を延長していましたが、<sup>⑧</sup>2023年4月に予定通りドイツは脱原発を完了しました。

先日、久しぶりにドイツで知り合ったウクライナの友人に連絡してみました。ちょうど友人は家族のいるウクライナ西部のリヴィウに帰っていたそうです。同じ頃、日本ではリヴィウにロシア軍のミサイルが撃ち込まれたと報道されていたので心配しましたが、SNSを通じて「元気だよ！」という返事がきて安心しました。友人はあと数日間、家族と一緒に過ごした後、ハンガリーやポーランド<sup>⑨</sup>などを経由しながらバスで約26時間かけてドイツに戻るそうです。

問1 ロシアによるウクライナ侵攻が始まった結果、下線部①のようなことが起きているのはなぜでしょうか。本文を参考にして答えなさい。

問2 下線部②・④・⑨の国を地図から選び、記号で答えなさい。



問3 下線部③と⑤について、政府が「9ユーロチケット」などの割安チケットの販売をはじめたのはなぜですか。本文と[資料1]を参考にして2つ答えなさい。

[資料1]ドイツにおける割安チケット販売の意義

(前略)9ユーロチケットなどの割安チケットは、ドイツ各地で通用する公共交通機関の乗り放題チケットとして販売される。(中略)ところで、ドイツにおいても、自動車利用者の負担を減らすためにガソリンや軽油の<sup>ぜいりつ</sup>税率の引き下げなどが期間限定で行われた。しかし、燃料価格の上昇にともなう自家用車の利用減少をきっかけとして、公共交通機関へのシフトとその結果としての<sup>うなが</sup>二酸化炭素排出量の削減を促すことも重視された。すなわち、2045年までに気候中立(温室効果ガスの排出実質ゼロ)を達成するという目標をかかげた第4次メルケル政権以降、ドイツ政府は公共交通機関の整備や運営に必要な財源を増額してきた。現政権も同様の路線を引き継いでおり、(後略)

(『交通新聞』2023年4月5日の一部 ※一部をわかりやすい表現に改めています。)

問4 下線部⑥について、私が家賃の値上がりを心配した背景として、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ドイツ政府が再生可能エネルギーに関する法律を改正し、すべてのエネルギーを火力発電に変えると表明したが、燃料の調達が遅れていたから。
- イ ドイツ政府によってガソリン車を増やす法律が制定され、ガソリン車の需要が高まり、さらなるエネルギー事情の悪化が予想されたから。
- ウ 寒さの厳しいドイツで冬に向けてエネルギー<sup>じゅよう</sup>需要が高まり、さらなるエネルギーの<sup>ばく</sup>ひっ迫が予想されたから。
- エ アメリカとドイツの間を結ぶ天然ガス<sup>きょうきゅう</sup>供給のパイプライン「ノルドストリーム」がロシアによって破壊され、エネルギー事情が厳しくなることが予想されたから。

問5 下線部⑦について、次の問いに答えなさい。

(1) なぜ、2011年に原発に関する重要な政策が決定されたのでしょうか。  
理由を答えなさい。

また、それはどのような内容の政策だったのでしょうか。本文を参考に  
にして答えなさい。

(2) 日本で法律に関することを決める機関は国会です。国会について定め  
る日本国憲法の次の条文の( 1 )と( 2 )に入る適切な語を語群か  
ら選び、記号で答えなさい。

第四一条 国会は、国権の( 1 )機関であつて、国の唯一の( 2 )  
機関である。

〈語群〉 ア 行政 イ 最高 ウ 司法 エ 立法 オ 承認

問6 下線部⑧について、次の首 [資料2]

相になった[資料2]の人物の  
名を語群から選び、記号で答  
えなさい。

## 著作権保護のため掲載を控えます

〈語群〉 a スナク b マクロン c ショルツ d バイデン

2

次の沖縄(琉球)についての年表を読んで以下の問いに答えなさい。

- 1609年 明(中国)に従っていた琉球国が、薩摩藩の侵攻をうけて、明に従いながら薩摩藩の支配を受けるようになる。
- 1654年 琉球国が清(中国)に従うようになる。
- 1854年 琉球国がアメリカと琉米修好条約を結ぶ。
- 1871年 ① 薩摩藩にかわり鹿児島県が琉球国を支配するようになる。
- 1872年 ② 日本政府が琉球国を直接支配して琉球藩を設置する。
- 1879年 日本が琉球藩廃止と沖縄県設置を強行し琉球国がほろびる。  
清が日本に抗議し、琉球をめぐる対立が続く。
- 1945年 ③ 沖縄県で住民を巻きこんだ地上戦が展開される。  
日本の降伏で第二次世界大戦が終結する。
- 1972年 沖縄の施政権がアメリカから日本に返還される。
- 1975年 ④ 日本の皇太子(現在の上皇)が、皇族として戦後初めて沖縄を訪問する。その後も、現在の上皇や天皇が、沖縄への訪問をくり返す。

問1 下線部①について、この年には、江戸幕府がアメリカと条約を結んでいますが、その条約を何というか答えなさい。また、このとき江戸幕府が開港した港を次のうちから2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 下田      イ 神戸      ウ 長崎      エ 那覇  
オ 新潟      カ 函館      キ 横浜

問2 下線部②について、この年に起きたできごととして正しいものを、次のうちから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 大塩平八郎の乱      イ 大日本帝国憲法発布  
ウ 西南戦争      エ 廃藩置県

問3 下線部③について、その対立の終わりについて説明した次の文章を読み、空らん( 1 ), ( 2 )に入る適切な地名を答えなさい。

主として( 1 )半島をめぐる対立をきっかけとして起こった戦争の結果、日本は( 2 )と澎湖諸島、そして一時的には遼東半島を獲得した。そのため、日本の本土と、日本領となった(2)の間にある琉球の主権問題については争われなくなった。

問4 下線部④について、当時の皇太子は、天皇の代理として沖縄を訪問しました。当時の沖縄では、それまでの歴史にもとづく様々な理由から、それに複雑な気持ちをもつ人びとがおり、中にはそれに反発する人びともいました。当時の皇太子はそれを理解した上で沖縄を訪問し、その後も沖縄への訪問をくり返し、その歴史に向きあいました。

当時の沖縄の人びとの一部が、天皇の代理である皇太子の訪問に反発した様々な理由のうち、次の[資料1～3]から読み取れる理由を説明しなさい。(資料は分かりやすい表現に変えています。)

[資料1] 沖縄県の教育監督官の主張(1944年1月1日)

(略)日本の教育がまじりけなく保持されているのは、実に軍隊教育と同様、お国のために死ぬという純粋で極まる忠誠心からすべてが始まっているからである。青少年の教育の中心もやはりこの原点に戻るべきであり、皇国(天皇の治める国)を守り抜くために死ねる皇民(天皇の治める国の民)の育成にこそ、その根本の意味があることを、私たち教育実践者は胆に命じるべきである。

(『大阪朝日新聞』沖縄版「死ねる教育」1944年1月1日)  
(琉球政府編『沖縄県史』第8巻、1971年、171ページ)



[資料2] 沖縄戦での日本の海軍司令官の報告(1945年6月6日)

(略)陸海軍が沖縄にやってきて以来、県民は最初から最後まで勤労奉仕<sup>ほうし</sup>や物資の節約をしいられ、ただひたすら日本人としてのご奉公<sup>ほうこう</sup>をするのだという一念を胸<sup>いだ</sup>に抱きながら、ついに(略)この戦闘<sup>せんとう</sup>の最期<sup>むか</sup>を迎えてしまいました。

沖縄の実情は(略)一本の木、一本の草さえすべてが焼けて、焼け野原となり、食べ物も6月一杯<sup>いっぱい</sup>を支えるだけということです。(略)

(『朝日新聞』「自決前、大田中將が海軍次官にあてた電文」2021年8月11日)

[資料3] 沖縄戦での日本側の死者数(推計)

日本兵(沖縄県外の出身)	6万5908人	} 沖縄県民の死者 推計12万2228人
軍人・軍属 <sup>ぐんぞく</sup> とされた沖縄県民	2万8228人	
それ以外の沖縄県民	9万4000人	

注)当時の沖縄県の総人口は約60万人。

(沖縄県生活福祉部<sup>ふくし えんご</sup>援護課『沖縄の援護のあゆみ』1996年、56ページ)

